

あゆみ

社会保険
二本松病院

二本松市成田町1-553

☎0243-23-1231

☎0243-23-5086

<http://www.shaho.nihonmatsu.com>

発行責任者:院内外報編集部



新年を迎えて

病院長 有 壁 謙

明けましておめでとうございます。

一昨年の米国発の金融危機以降、昨年世界経済は回復の兆しが見えず、そこに新型インフルエンザの大流行が追い討ちをかけ、不況からの脱出はなかなか困難なようです。また殺人や薬物使用など、心の痛むニュースが多い一年でもありました。そんな中イチローによる九年連続二百安打の大リーグ記録、石川遼君のゴルフ最年少賞金王など、明るい話題もみられました。しかしなんとといっても最大の出来事は、「政権交代」の四文字を御旗に見事民主党が政権を奪取したことでしよう。

この民主党政権の誕生で、平成十四年以来不透明な状態が続いていた社会保険病院の存続問題について、ようやく決着の道筋がつけられようとしております。独立行政法人「地域医療機能推進機構」として、公的病院での存続

です。地域の皆様には、長年にわたり大変ご心配をおかけいたしておりましたが、ようやく安心いただけそうです。

病院機能に関しましては、常勤医不在科の解消は残念ながら出来ませんでした。また九月、産婦人科本田先生の開業による退職に当たっても、代替りの医師補充は無理でした。しかし本田先生、さらに一年前すでに開業されていた渡辺先生のご協力と、当院産婦人科大和田先生の頑張りにより、産科における地域病診連携が構築され、当院の産科医療が継続出来ました。これはこの地域におきましても当院にとりまして、大変嬉しいことでした。これからも医師不足の時代は続きますが、今年は何とかして常勤医師を招聘すべく、努力する所存です。

医療の「安全」、「質」につきましては、一昨年の機能評価更新以後も継続して

改善に努めておりますので、ご安心いただきたく存じます。さらには今以上に「やさしさ」を医療に付加することで、いわゆる満足いただける医療の提供を目指します。

現在、猛威を振るっている新型インフルエンザに関しましても、医師会や行政と連携を密にし、万全の体制で地域の皆様の感染予防や治療に邁進します。

最後に全職員に一言…職員同士がお互いに「思いやり」の気持ちを大切に仕事をするならば、必ずや業務の効率は大幅に上がり、ひいてはそれが、患者家族の皆様から安心してかかる病院として認められ、そして一層喜んでいただけるのだと考えます。

今年も笑顔、親切、真心を忘れることなく職員一同頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

年頭の挨拶

寿命と生活習慣



副院長
山崎 正明

あけましておめでとうございます。今年も皆さんが健康で過ごせるようにお祈り申し上げます。

さて、我が国は長寿国と言われていますが、平均寿命は何歳だか知っていますか？男性約八〇歳、女性約八六歳です。戦国時代から明治初期まで人生五〇年と言われていたそうですから、近年急速に寿命が伸びたことになりました。衛生・環境の整備、医学・医療の進歩によるものと考えられます。百寿者も一九六三年一五三人から二〇〇八年三六、二七八人と著しく増加しています。百寿者とそうでなかった人との違いは何でしょうか？ 遺伝でしょうか？ そこで百寿者の特徴をみると、なんらかの趣味をもった人が多く、アルコールはたしなむが喫煙はしない、食事は三食を規則正しくとっている、食事内容に注意をはらっている、適宜な運動・休養をとっている人が多そうです。性格としては好奇心に富み、意志が強く、仕事熱心、明るく、ほがらかな人が多いそうです。また病歴を有する百寿者は九七％、定期的な内服者が六四％、

高血圧六三％、そして手術歴者五二％と病気になるばきちんと治療してきた人達です。

最近、アンチ・エイジングの文字が目につくようになりました。酸化ストレスが過剰になると動脈硬化や発癌の問題が出てくると研究が進んでいるようです。ヒトは生きていくために少なからず酸化ストレスを発生させています。そしてヒトは加齢と共に動脈硬化が徐々に起こってきます。ただし過食、肥満によって酸化ストレスが過剰になると動脈硬化をさらに進行させるのだそうです。動脈硬化の進行は心筋梗塞や脳卒中を起しやすくなります。これらの病気が治療により救命されても健康寿命を損ないかねません。一方、酸化ストレスが遺伝子に影響して発癌に関与しているという研究報告もみられます。アンチ・エイジングは特別な薬を服用することではありません。百寿者の良い生活習慣を参考にして日頃から健康寿命を意識して生活していくことが大切と考えられます。

二本松病院は、生活習慣病および癌の早期発見を目的とした健診事業、生活習慣病の治療および各科における癌の早期発見・早期治療、さらに介護事業にも力を入れています。今年も、職員一同、地域の人々の健康寿命を伸ばせるように頑張っていきたいと思います。

※祖父江逸郎「長寿を科学する」岩波新書

新年を迎えて〜基本を確実に〜



事務局長
猪狩 明

新年おめでとうございます。

昨年は、入院患者の対前年比減が続き、経営的にも苦しい一年でした。年末前にはその患者減にも歯止めがかかり始めた兆候が見受けられるものの、減少分を回復する状況にはなく、経理計画に大きな狂いが生じ年度決算は相当厳しいものがあります。残された期間でどこまで回復できるかが当面の課題です。

また、先の臨時国会では「独立行政法人地域医療機能推進機構法案」が、厚生労働委員会で継続案件となり、法案は成立していませんが、社会保険病院等の取り扱いに対する国の方針が明確になったことは職員に不安が払拭されるとともに、人材確保に向けても期待が持てるところであります。

しかし、法案を私なりに解釈してみますと、詳細は不明ですが公的病院の位置づけは医療法その他の政令で定めるものを準用することであり、国から補助金等がでるというものではないようです。今と同じく独立採算で経営の安定を図らなければなりません。

そこで、本年の基本目標ですが「患者様の来やすい環境確認（対接遇を含めた）と経費の削減」です。

病院とは何なのか、患者は何を求めているのか、職員はどう対応しなければならぬのか、それに応えるために必要な知識・

心構え等をどう養うのか：あらためて医療従事者としての原点に戻ることも必要なのではないでしょうか。

昨年、管理者の全員が「職員の教育・意識改革」を方針と掲げたように、職員一人ひとりがそれぞれの業務を業種・役職等に応じた確にやり遂げることが必要です。

病院は組織です、組織の中で自分の立場を理解し、責任を確実に実行しなければ組織の秩序がなくなり、事故の要因にもなりかねません。

そのためには、もう一度、組織とは何なのかを理解する必要があります。また、必要な知識は院内学術講演会をはじめ院外研修等とその機会が多々ありますので、ルールに従って上司と相談し活用していただきたいと思ひます。

しかし、「研修に参加すれば知識が身につく」という安易な考えは捨てていただかねばなりません。研修に参加することは現場に職員がいなくなる、他の職員に負担がかかる、経費もかかります。順送りの参加でなく、目的を持ち、研修の成果を関係職員そして組織として共有する、業務に活用する工夫をさらにお願ひいたします。

患者様の来やすい環境確認（対接遇を含めた）は、患者に喜ばれる病院づくりと一体です。一人ひとりの職員が医療従事者として、つねに基本的な心構えを忘れず実行していく必要があると思ひます。

患者・家族が「良い病院だね、来て良かったね」と満足できるように、患者側から納得のできる病院づくりをさらに目指し、実行する一年にしたいと思います。

本年も宜しくお願いいたします。

看護がみえる病院を目指して



看護局長

富永 昭子

新年 明けましておめでとうございます。自民党から民主党へと政権が交代し、ムダの少ない国民のための政治へと様々な問題が見直されております。しかし、永年積み重ねられた複雑な問題が、妙案と共に即解決となるはずはなく、問題の複雑な絡みが見えてくるばかりです。これからの変化を見ながら期待しましょう。

昨年の看護局トピックスは、何と云っても新型インフルエンザの感染拡大でした。目に見えないウイルスとの戦いに、私達の知識が試されました。日ごとに異なるマスコミからの報道と保健所からの対応に右往左往しながらも、ICT委員を中心に協力病院としての役割を果たすことができました。そして、今も続いています。

「いずれはやって来る」と遠い先に思っていた高齢化社会、現実となった今、身体的・精神的に加えて社会的な問題の調整に看護の難しさを感じます。その難しさの中で、患者の視点に立った質の高い看護の提供は、専門分野の資格取得からその人材活用まで、地域の皆様に見えるような形で示していくことが大事であると思っています。

社会保険病院の特徴は、全国ネットワークの強みを生かした院外研修の充実にあります。全国五ブロックで行われる拠点研修では、知識や技術の修得だけでなく看護師同士の交流や情報交換も行われます。昨年は、北海道・東北ブロックの担当病院とし

て六回の研修を実施いたしました。退院調整では、個々人の問題をどう整理し、どのような職種が協力すれば、より尊厳を支える看護に変えていけるかを学びました。その学びを活かし、入院早期から退院支援体制を確立し、高いQOLを目指した支援にこだわりをもって取り組みたいと思います。

褥瘡予防のためポジショニングやがん患者の疼痛コントロール研修では、演習を通し、身体的・精神的苦痛を体験しながら看護の振り返りを行なう機会といたしました。新たな年は、地域の皆様にも体験を通した知識や技術をお伝えできる機会をもちたいと考えています。

活発になった委員会やグループ活動は、いくつか喜ばしい事がありました。その一つが福島NST（栄養サポートチーム）フォーラムで見事に最優秀演題賞を受賞したことです。他職種がチームを組み、疾患や加齢による摂食・嚥下障害に嚥下食を導入し、摂食機能療法として関わりをもつことに自信ができました。さらに、NSTが褥瘡委員会と協力することで、褥瘡の予防や治療に対しても共同効果が出ていることから、今後ますます期待するところです。疥癬の問題でも、ICT委員が地域施設と協力し、共同問題として拡大防止策に取り組み、前年度より一歩進んだ取り組みができたとうれしく思っています。こんな活躍する看護師の姿をみて、夢いっぱいの人材が入職することは希望の光です。経験者が「人材」としてさらに成長し、病院の「人材」となり、ひいては地域の皆様から求められる人材となるよう、管理者の一人として努力したいと思っています。今年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

「第四十七回日本社会保険医学会総会」開催される

十一月十二日・十三日の二日間、西洋医学の発祥の地、長崎市において「西洋医学発祥から百五十年―いま求められる医療は―」をメインテーマに「第四十七回日本社会保険医学会総会」が開催されました。

開会式で君野孝二会長が「今日、社会不安と医療行政の一貫性の喪失により医療環境、特に病院の環境は大変厳しいものになっております。しかし、このような環境においても私たち医療従事者は、より良い医療を提供出来るように可能な限り日夜努力しているのが実際ではないかと考えます。

全国の様々な職種の会員が共通の目的を持って長崎の地に集い、様々な情報を共有し共に向上することが出来たら幸甚に存じます」と挨拶されました。

医学会総会では、部門別（看護研究・医療技術研究・横断的研究・医師研究）に、口演発表三百五題、ポスター発表百四題、合計四百九題が発表されました。当院からは栄養課の溝井博之さん、理学療法部の赤岡智行さんが、堂々と口演発表を行いました。

最終選考の結果、赤岡智行さんが医療技術研究部門で学会賞に選ばれ、学会賞授与式に出席し表彰を受けました。



年男 年女



栄養課
篠崎 栄子

今年で5回目の年女です。健康に気をつけて何事にも謙虚に、そして意欲的でありたい



腎センター
伊東 淑子

崇高な場である事を自覚して、日々新たな気持ちで勤務にあたりたい



外来
東海林 トヨ

人生のもどり道、ゆっくりゆっくり楽しみながら行こう



3階
佐藤 泰子

今年36歳の年女(?)でも、身体は正直48歳!! 心・身共に健康で励みます



5階
齋藤 恵美

我が家は娘も寅年生まれ、母娘で寅・寅・年女です



3階
酒井 美智子

今年も一年楽しく仕事をしていきたいと思しますので、どうぞ宜しくお願いいたします



相談員
吉田 修子

脳の回路をしっかりと確保するために日記を書き、得意料理は避けて新メニューに挑戦!



栄養課
溝井 博之

今年で、四回目〜? (笑) 寅さん! 「Oは、つらいよ」に、ならないように頑張ります



5階
渡辺 百合子

何回目かの年女を迎えることになりました。いつまでも「美」を求めてがんばります



5階
菅野 春江

今年も一年穏やかに過ごしたいと思えます



5階
諸橋 まゆみ

明るく元気ががんばります!!



外来
菅野 紋子

今年はその場に流されず、自分自身をしっかりと持って何事にもがんばりたいです



理学療法部
関和 良太

今年新しいことに挑戦し、切磋琢磨していきたい!



理学療法部
木村 亮太

トコ年ですが、巨人ファンで臆病者な草食系男子です。2010年は勇猛果敢に様々な事に挑戦していきたいです

庶務だより

退職

遊佐 義一

(12/31)

こんにちは赤ちゃん

渡邊 恵

5階

(11/12男児)

二十一年度の行動規範

笑顔・親切・真心

今月の目標

笑顔の挨拶から

始まる 快適な一日

南 良恵



編集後記

「一年の計は元且にあり」みなさんは今年一年、何を計画されましたか? 今年こそは〇〇に挑戦! 今年こそは〇〇を目標にがんばろう!! 毎年新たな気持ちで望んでいる年の始めですが、つい三日坊主; 気がつけば反省を繰り返しながらの毎年でも、今年はいつもととは違うぞ、と、思いながらも元気が一番! 健康が一番!! と、言い聞かせ肩の力を抜いて今年も一年を過ごします。

(Y・M記)